

事業所名

スタディラボ

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		事業所は地域との関りや交流の場として、子どもたちの最善の利益を大切にし一人ひとりの個性を尊重する居場所を目指します							
支援方針		児童1人1人に寄り添った支援を提供いたします。個別学習(宿題・独自学習プリント・PCスキル)、自立支援、ソーシャルスキルトレーニング、週替わりコンテンツを通じて、個人が社会へ出るために必要となるスキルを身につけることが当教室の基本方針です。							
営業時間		13時	30分	18時	00分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※原則自力での登室を推奨しております
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	①毎日の検温・手洗いを実施し、健康状態の把握に努めます。 ②時間の概念、お金の概念を学習し、実践できるよう努めます。 ③基本的な生活スキルの獲得を目標とし、食事や身の回りのことなど自分で出来ることの習慣を身につけてゆきます。							
	運動・感覚	①制作活動やPCスキルを通じて、指先の動作や感覚を養い脳との連動性をトレーニングし、日常基本動作に繋げてゆきます。							
	認知・行動	①当日の自身の活動予定をあらかじめ本人と共有して、時計を見て予定に沿って活動できるよう習慣付けてゆけるよう努めます。 ②パソコンを通じて触覚、視覚、聴覚などの感覚を活用して認知機能の発達を促し、必要な情報の取得や行動、想像力などの手がかりなどを自身でイメージできるよう努めます。							
	言語 コミュニケーション	①ソーシャルスキルトレーニングを通じて数名のグループをつくり、コミュニケーションカードゲーム等で意見を述べ合う事も行います。室内イベントとして、工作物を作る、料理を作る、理科の分野につながる実験を行います。 ②社会でのルールや常識、相手の気持ちなどを加味して行動ができるようにサポートし、社会性が向上するよう支援してゆきます。							
	人間関係 社会性	①活動を通して人間関係の構築・手順やルールを理解して社会性が学べる支援を行います。 (例：スタッフや他の児童との交流や、グループワークのゲームを通じた共通ルールの認識など) ②個人別に設定した、社会性、人間関係への課題を個別支援計画書に基づいて活動をサポートし、習得してゆけるよう支援してゆきます。							
家族支援		関係機関との連携 保護者との面談(随時)			移行支援		進学や就労、環境の変化に対応できるよう各個人の課題を見つけ、適応訓練を実施してゆきます。		
地域支援・地域連携		必要に応じて、教育、医療、福祉、労働分野との連携の実施			職員の質の向上		職員対象研修会の実施（支援技術、防災、感染症対策、虐待、医療や心理などの専門知識等） 職員向けマニュアルの整備（共通ルール、虐待、防災、感染症等）		
主な行事等		祝日や学校長期休業期間は、外出活動：①公共交通機関を利用し、自分で切符を目的地まで買って移動する。②公共施設の調理実習室での調理体験などから食の大切さを学び実生活で実践することを目標とします。③外出先では社会的ルールを学び、自分がどうあるべきかを学ぶ場とするともに仲間との友好的な関係を築くサポートをしてゆきます。④将来的にはPCでの各種検定を受けて自分のスキル獲得を達成できるようサポートしてゆきます。							